

広報トピックス



〈平成20年度災害通信連絡訓練〉

10月28日、北海道防災会議（北海道総務部担当）主催の災害通信連絡訓練が上歌と文珠第一で行われ、その地域の皆さんと市職員合わせて43人が、台風・大雨災害を想定した通信訓練や避難訓練に取り組みました。



〈一般救急講習会〉

万が一のためにと11月6日、小学校PTAからの要望により、一般救急講習会が同校で開かれ、人口呼吸や心臓マッサージ、AED（自動体外式除細動器）の使用方法などを実技を交えながら学びました。



〈歌小フェスティバル〉

11月7日、学年ごとに出し物やゲームを行う歌小フェスティバルが開かれ、1年生のまり・こま商店では、地域の皆さんから教わったこまやけん玉を児童や父母等に披露しました。



〈歌志内消費者協会創立40周年記念式典〉

11月8日、公民館で歌志内消費者協会創立40周年記念式典が行われました。式典には会員など70人出席して、よりいっそうの消費者活動に取り組みようと、気持ちを新たにしていきました。



〈北海道善行賞〉

11月7日、文珠第三・山川治療院の山川實（やまかわみのる）さんが、自身の障害を克服し、社会の模範者として自立したことが認められ、北海道善行賞の表彰を受けました。本人は「これまで仕事を続けてこられたのも、皆さんに支えていただいたおかげと感謝しています」と受賞の喜びを話してくれました。

歌志内俳句会選

鮫鱈の鍋懐古して独り酒 柳谷 直明
 韃靼も牡丹もありや蕎麦の花 岡部 康一
 干菜汁温めてひとり一茶の忌 根本 美恵
 器用にはなれぬ生き様鳥渡る 大沼 清子
 峡の街抱き込み釣瓶落しかな 勝部 貞子
 幾度も文読み返す秋思かな 後藤 妙子
 干菜汁作りて母を偲びけり 吉岡 ユカ
 すべり止めつけしステッキ冬に入る

市民のひろば

俳句

■ふるさと納税
 ▽東京都江戸川区 村岡 清美
 さんから 現金2万円
 ■歌志内市へ
 ▽豊永山妙法寺お講の会から 現金1万円

ありがとうございます
 ございませう



「団らん」 藤原 ミツ



「トマトのささやき」矢農 礼子

絵手紙
 露呈する食の実態神の留守 高瀬 仁孝

うちの子も げんきです



なかしま し おん
中島 詩音ちゃん

とお父さん



本町第一

お父さん・輝雄さん お母さん・愛さん
長女（11か月）

お父さんのひとこと

いたずら好きでじゃじゃ馬ですが、ペコちゃんのまねをして舌をペロっと出すなどあいきょうもあります。少々男の子っぽいところがあるので、女の子らしくやさしい子になってほしいですね。



〈西小ふれあい広場〉

11月13日、福笑いや射的・風船ダーツなど西小学校の児童たちが手作りしたお店が校内で開かれ、それぞれに工夫のこらされたゲームなどに、子どもたちは夢中になって遊んでいました。

冬の交通安全運動の初日となる11月12日、中村交通安全塔前でセーフティコーンが実施され、町内会や赤歌警察署、交通事故死ゼロ作戦本部などから63人が参加して、安全運転を呼びかけました。



〈セーフティコーン〉

子どもスキー教室

- ▶とき 1月7日（水）～同9日（金）
午前10時～正午
- ▶ところ かもい岳スキー場
- ▶対象 幼児から小学2年生まで
- ▶受講料 無料（リフト代金は実費）
- ▶申し込み 12月19日（金）までに公民館（☎42～3902）へ。※定員40人



〈歌志内幼稚園発表会〉

11月15日、幼稚園で発表会が行われました。園児たちは、父母等が苦労して作成したかわいらしい衣装を身にまとい、音楽に合わせて元気いっぱい踊りなどを披露していました。

図書館 だより

☎42～6900

行事

移動どうわ会

2時30分
12月12日（金）午後

内容 神威児童センター
本の読み聞かせ、紙しばい

移動としよかん
12月18日（木）

西小学校（午後2時15分～同3時15分）
給食センター（午後3時30分～同4時）

市民体育館（午後4時15分～同4時45分）
図書館チャレンジ教室

とき 12月26日（金）、同27日（土）、1月6日（火）、同7日（水）、同9日（金）、同10日（土）午後1時～同3時

対象 小学生以上
内容 絵本づくり

参加料 500円
申し込み 図書館

『真夜中のタランテラ』
（麻見和史著）

『ガリレオの苦惱』（東野圭吾著）

『ジョーカー・ゲーム』
（柳広司著）

『犯罪小説家』（粟井脩介著）
小説「凍て鶴」の映画化にあたり監督に抜擢された人気脚本家、小野川充。小野川は「凍て鶴」に強い興味を示し、主人公とヒロインのイメージをつかむためとして、奇抜な言動で原作者さえも翻弄していく。

読んでみませんか？

『アイスクリン強し』（畠中恵著）
明治23年の東京で、一軒の洋菓子店がオープンした。江戸から東京に名前を変え、日々変化していく街の中で、洋菓子店の若主人と幼なじみの警官達が繰り広げる騒動記。

『犯罪小説家』（粟井脩介著）
小説「凍て鶴」の映画化にあたり監督に抜擢された人気脚本家、小野川充。小野川は「凍て鶴」に強い興味を示し、主人公とヒロインのイメージをつかむためとして、奇抜な言動で原作者さえも翻弄していく。

『ジョーカー・ゲーム』（柳広司著）
優秀なスパイは誰も殺さず、また自らも生きて情報を持ち帰らなければならぬ。五感を研ぎ澄まし、知力の限りを尽くして生き残る。命を賭けた「ゲーム」を戦う男たちを描いた連作短編集。

『真夜中のタランテラ』（麻見和史著）
『ガリレオの苦惱』（東野圭吾著）

◆その他の新刊◆